

## 第204回教育研究評議会<議事要録>

日時 令和4年5月16日(月) 13:00~15:30  
場所 <Web会議により実施(Microsoft Teamsを使用)>  
本部棟3階 特別会議室  
出席者 服部学長, 藤田理事, 肥後理事, 大谷理事, 椎名理事, 藤波理事, 金山副学長,  
松崎副学長, 増永副学長, 丸橋法文学部長, 河添教育学部長,  
磯村人間科学部長, 鬼形医学部長, 伊藤総合理工学部長, 川向生物資源科学部長,  
片岡評議員, 加藤評議員, 高橋評議員, 石原評議員, 山田評議員, 松本評議員,  
河野評議員, 廣光評議員, 境評議員, 津本評議員, 半田評議員  
オブザーバー 千家監事  
〔陪席: 企画部長, 研究・地方創生部長, 教育・学生支援部長, 総務部長,  
財務部長, 松江地区学部等事務部長, 医学部事務部長, 教育企画課長,  
学生支援課長, 総務課長, 監査室長, 附属学校長〕

### 議題1 研究マネジメント委員会規程の制定について

- 大谷理事から研究マネジメント委員会規程の制定について説明があり, 審議の結果, 原案通り議決された。

### 議題2 入学者受入委員会規程の一部改正について

- 肥後理事から入学者受入委員会規程の一部改正について説明があり, 審議の結果, 原案通り議決された。

### 議題3 島根大学教学マネジメント方針及び島根大学アセスメントプランの一部改正について

- 肥後理事から島根大学教学マネジメント方針及び島根大学アセスメントプランの一部改正について説明があり, 審議の結果, 原案どおり議決された。

### 議題4 令和5年度以降のオックスフォード大学との連携について

- 大谷理事から令和5年度以降のオックスフォード大学との連携について説明があった。
- 片岡評議員から, 展開枠は事業の規模を拡大することが目標となり本学の費用負担が増すと考えられるが, オックスフォード大学との連携の持続可能性をどのように考えるのかとの質問があった。大谷理事から, 本学が世界唯一の施設を有していることからオックスフォード大学との共同研究や共著論文が増えていること, オックスフォード大学に本学と連携することの強みやメリットを感じてもらい共同研究費を先方に負担してもらいたいと考えていること, 研究施設やスタッフを強化し自己負担額を増やさないよう厳密に管理するとともに, 事業期間中に負担額を減らすべく全力で取り組んでいることについて説明があった。続けて服部学長から, 本事業は実施期間10年間の最初の5年間は国や島根県から補助金を頂き, 来年度からは本学が島根県、企業とうまく連携して自走していくべきというのがそもそもの骨格となるが, 特に進捗が優れた取組については自走期間も最大4年まで国が支援する「展開枠」が作られた。「展開」は, 現在の取り組みを加速させ応用部分を広げるといふ趣旨であり, 事業規模を拡大して費用負担が大きくなるということではない。事業終了後の自走期間は, 理想的には企業や県からの支援に加え, 大学の負担は基本的に外部資金で賄うというものであり, 事業終了後のことはその時点で考える余地はあるし, 自走できる形になっていなければならないと考える。本議題について, 事業規模や費用が将来的にどんどん膨らんでいくのではないかとのご心配は現時点では当たらないとの説明があった。
- 上記の質疑応答の後, 原案通り議決された。

## 議題5 令和3年度自己点検・評価結果に基づく内部質保証について

- 肥後理事及び藤波理事から令和3年度自己点検・評価結果に基づく内部質保証（教育課程、学生支援、学生受入、施設・設備）について説明があり、審議の結果、学生支援及び施設・設備に関する自己点検・評価書については異議なく議決された。教育課程及び入学者受入に関する自己点検・評価書については課題が残っている部分について6月の教育研究評議会において再度審議を行うこととなった。

## 協議事項1 島根大学ビジョン2021に係る令和3年度実績及び令和4年度実行計画（案）について

- 肥後理事及び大谷理事から島根大学ビジョン2021に係る令和3年度実績及び令和4年度実行計画（案）について説明があった。
- 丸橋評議員から、教育ビジョン-目標1-戦略2の令和4年度実行計画②（学務情報システム「DP達成状況チャート」を用いた学生指導を行っている教員が令和5年度末には半数以上になることを目標とする。）の達成に向けては、構成員に対して実施の動機付けとなるよう早い段階でFDなどによる啓発の機会を設けていただきたいとの発言があった。また、教育ビジョン-目標4-戦略1の令和4年度実行計画②（各学部・研究科に「グローバル・commons」等のスペースを設けて、学部間・研究科間を超えた交流を図る。）の固定的なスペース確保には手間や時間が必要となるが達成に向けて考えたいとの発言があった。
- 肥後理事から、内容を確認いただき意見等があれば5月27日まで提出するよう依頼があった。

## 報告事項1 令和5年度魅力ある地方大学の実現に資する地方国立大学の定員増への申請について

- 肥後理事から令和5年度魅力ある地方大学の実現に資する地方国立大学の定員増への申請について報告があった。

## 報告事項2 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）事業報告について

- 藤田理事からダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）事業報告について報告があった。

## 報告事項3 島根大学教学マネジメント方針及び島根大学アセスメントプランの一部改正について

- 本件は報告を取り下げた。

## 報告事項4 教員の採用等について

- 本件は書面をもって報告に代えた。

## その他

- 増永評議員から、全学の教員を対象に研究データベースの作成を進めているが、研究内容が空欄のまま保存されている方も多いため、研究の概要を入力していただきたいとの依頼があった。